

簿記原理Ⅱ

科目ナンバリング ACC-102
選択 2単位

増田 里香

1. 授業の概要(ねらい)

本講義では、簿記原理Ⅰで学んだ内容をもとに、実際の企業活動を意識した財務諸表作成のための簿記を理解することを目的とします。

2. 授業の到達目標

簿記原理Ⅰで学んだ知識をもとに、より進んだ仕訳を学び、補助簿への記入、8桁精算表の作成ができるようになることを目標とします。

3. 成績評価の方法および基準

成績評価は次の基準で行います。

- 1. 期末試験 65%
- 2. 授業中の態度・演習問題や小テストの達成状況 35%

4. 教科書・参考文献

教科書

新田忠誓他 エッセンス簿記会計(最新版) ネットスクール出版

新田忠誓監修 全経簿記能力検定試験公式問題集3級 ネットスクール出版

5. 準備学修の内容

予習は特に質問ありません。しかし、事後の復習が大切のため、講義中の練習問題、教科書等の関連する問題を解き復習して下さい。

6. その他履修上の注意事項

簿記原理Ⅰを履修済みまたは同等以上の簿記の知識があることが望ましいです。
講義には電卓を持参して下さい。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス:講義の進め方、成績評価の方法など
- 【第2回】 簿記原理Ⅰの要点、簿記の基本用語の確認
- 【第3回】 現金預金取引と現金出納帳・当座預金出納帳の記帳
- 【第4回】 商品売買取引及び売上帳・仕入帳
- 【第5回】 商品有高帳の記帳方法
- 【第6回】 売上原価の算定
- 【第7回】 掛け取引と売掛金・買掛金に関する処理
- 【第8回】 代金の後払いに用いられる手形取引
- 【第9回】 債権が回収できなくなること(貸倒れ)に関わる処理全般
- 【第10回】 固定資産と減価償却
- 【第11回】 収益・費用の繰延べ・見越し
- 【第12回】 損益計算書と貸借対照表の作成
- 【第13回】 精算表(8桁)の作成
- 【第14回】 仕訳票の代わりに用いられる伝票について
- 【第15回】 本講義の総括